

(様式1)

令和7年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 067	提案機関名 神奈川県内水面漁業協同組合連合会
要望問題名 相模湾等での海産稚鮎の資源動向調査について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 アユ釣りを行う組合員や遊漁者は、多く主要な魚種となっています。加えて、近年、手軽に楽しめるアユイングなど若い釣り人を中心に高まる傾向にあります。 そのような中で、相模湾産稚鮎資源の動向は、同湾での資源量と稚鮎特別採捕尾数と天然遡上尾数が概ね相関しているように思われていましたが、昨年と本年の状況をみますと相関関係は崩れ、前記採捕は不漁であったにもかかわらず天然遡上は好調でありました。 このように、過去に経験したことのない相模湾稚アユ資源の動向を示しておりますので、アユ資源の移動状況、特別採捕の好漁・不漁原因、天然遡上との因果関係等の調査を早急に実施願いたい。	
解決希望年限	① 1 年以内 ② 2 ～ 3 年以内 ③ 4 ～ 5 年以内 ④ 5 ～ 1 0 年以内
対応を希望する研究機関名	① 農業技術センター ② 畜産技術センター ③ 水産技術センター ④ 自然環境保全センター
備 考	

回答機関名	水産技術センター	担当部所	内水面試験場
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合) アユ資源管理研究			
対応の内容等 稚アユの遡上状況調査と海域における稚アユの生態把握については、「農林水産関係試験研究推進構想水産業の部（令和5年3月）の試験研究課題（中課題）で、「アユの増殖と資源管理技術の開発」として、掲げております。 内水面試験場では現在、アユ産卵場と流下仔魚の調査、並びに海域における稚アユの生態把握調査を行っております。今後もアユの生息環境や天然資源の変動についての動向把握に努めます。			
解決予定年限	① 1 年以内 ② 2 ～ 3 年以内 ③ 4 ～ 5 年以内 ④ 5 ～ 1 0 年以内		
備 考			